

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	生物基礎	2	2年 情報ビジネス科 システム工学科	必履修	新編 生物基礎 (数研出版)	

学習目標	生物や生物現象において、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 生物の共通性と多様性を始め、遺伝情報とDNA、神経系と内分泌系、生態系とその保全についてなど、各単元の基本的な概念や原理を理解している。 また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけている。
	「思考・判断・表現」 生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。
	「思考・判断・表現」 実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや、課題の提出物。

学期	学習計画および内容
1 学期	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 中間考査 実験(顕微鏡の扱い方とスケッチ) ----- 第3節 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 期末考査 実験(体細胞分裂の観察、酵素の性質、ユスリカだ腺染色体の観察)
2 学期	第3節 遺伝情報の発現 第3章 ヒトの体内環境の維持 第1章 体内での遺伝情報と調節 第2章 体内環境の維持のしくみ 中間考査 実験(浸透圧による細胞の変化、白血球の観察) ----- 第3章 免疫のはたらき 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム 期末考査
3 学期	第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--